



平成18年12月21日

各位

会社名 旭硝子株式会社
 代表者名 代表取締役社長執行役員 門松正宏
 (コード番号 5201 東証第1部)
 問合せ先 広報・IR室長 川上真一
 (TEL. 03 - 3218 - 5509)

業績予想(連結・単独)の修正に関するお知らせ

平成18年度12月期(平成18年1月1日~平成18年12月31日)の業績予想について、平成18年11月1日に公表しました連結業績予想及び平成18年8月23日に公表しました単独業績を、下記の通り修正しますので、お知らせします。

記

1. 18年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成18年1月1日~平成18年12月31日)
 (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年11月1日発表)	1,600,000	135,000	130,000	76,000
今回修正予想(B)	1,600,000	135,000	130,000	41,000
増減額(B-A)	0	0	0	35,000
増減率	0.0	0.0	0.0	46.1
前期(平成17年12月期実績)	1,526,660	118,194	118,884	60,014

2. 修正の理由(連結)

平成18年度第4四半期において、北米板ガラス事業における暖簾代の減損損失、ブラウン管(CRT)ガラス生産設備(一部)の減損損失、並びにCRTガラスを製造している上海旭電子玻璃有限公司の全持分を売却することによる譲渡損等として、前回予想(平成18年11月1日時点)に追加して、新たに約750億円の特別損失を計上する見込みとなりました。

北米板ガラス事業については、建築用板ガラス部門の競争激化や原燃材料費高騰の影響等により採算が悪化していることから、連結子会社であるAFGインダストリーズ社の暖簾代を減損処理(約400億円)することとしたものです。

CRTガラス事業については、今後も需要が減少していく状況の中、生産設備(一部)の減損処理(約180億円)を追加で実施するとともに、市場戦略を大幅に見直し、今般、上海旭電子玻璃有限公司の全持分を譲渡することを決定し、これに伴う譲渡損(約100億円)が発生します。

以上の結果、売上高、営業利益、経常利益ともに前回予想から変更はありませんが、当期純利益は前回予想を下回る見通しです。

3. 18年12月期通期単独業績予想数値の修正（平成18年1月1日～平成18年12月31日）
（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成18年8月23日発表）	620,000	61,000	71,000	36,000
今回修正予想（B）	620,000	61,000	71,000	33,000
増減額（B - A）	0	0	0	69,000
増減率	0.0	0.0	0.0	-
前期（平成17年12月期実績）	576,229	46,554	62,504	43,008

4. 修正の理由（単独）

平成18年度第4四半期において、当社グループの北米における持株会社であるAGCアメリカ社株式の減損損失並びにCRTガラスを製造している上海旭電子玻璃有限公司の全持分を売却することによる譲渡損として、前回予想（平成18年8月23日時点）に追加して、新たに約1,050億円の特別損失を計上する見込みとなりました。

AGCアメリカ社は、当社グループの北米における持株会社ですが、AGCアメリカ社が株式を所有するAFGインダストリーズ社の暖簾代を減損処理することに加え、北米事業全般の業績が低調に推移していることから、当社所有のAGCアメリカ社株式を減損処理（約930億円）することとしたものです。

CRTガラス事業については、今後も需要が減少していく状況の中、市場戦略を大幅に見直し、今般、上海旭電子玻璃有限公司の全持分を譲渡することを決定し、これに伴う譲渡損（約120億円）が発生します。

これにより、売上高、営業利益、経常利益ともに前回予想から変更はありませんが、当期純利益は前回予想を下回る見通しです。

（補足資料）

事業セグメント別業績見込み（連結）

平成18年12月期通期

（単位：億円）

事業セグメント	売上高	営業利益
ガラス	8,000	420
電子・ディスプレイ	4,900	820
化学	3,000	80
その他	750	30
消去	650	-
合計	16,000	1,350

平成18年12月期第3四半期業績開示時（平成18年11月1日）の予想から変更はありません。

以上